

問い合わせ先

役場地域協働課 ☎ 963-1734 (直)

災害から命を守るために

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。熊本地震をはじめ、九州北部豪雨や耶馬溪での土砂災害など、身近な大規模災害も記憶に新しいところです。周囲の状況をよく把握し、早めに避難するなど命を守るための行動をとれるよう、日ごろから準備をしておきましょう。

避難に関する情報が出されなくても、「自分の身は自分で守る」という考え方のもと、身の危険を感じたら自発的に避難してください。



災害発生！いつ避難すればいいの？

災害が発生する恐れの高まりや程度に応じて、町の防災行政無線などから次の情報が発表されます。取るべき行動を確認しておきましょう。

1

避難準備・ 高齢者等避難開始

人的被害が発生する可能性が高まったとき

- ◆避難に時間がかかる要配慮者（高齢者、子ども、障がい者、その他特に配慮が必要な人）とその支援者は避難してください。
- ◆その他の人は避難の準備を整え、今後の防災気象情報などに注意してください。

2

避難勧告

人的被害の可能性が明らかに高まったとき
人的被害が発生したとき

- ◆避難所などへ速やかに避難してください。
- ◆避難所などへの避難がかえって危険だと判断した場合は、近くの安全な場所で身の安全を確保してください。

3

避難指示（緊急）

人的被害の可能性が非常に高まったとき
人的被害が発生したとき

- ◆まだ避難していない人は、避難所などへ緊急に避難してください。
- ◆避難所などへの避難はかえって危険だと判断した場合は、近くの安全な場所で身の安全を確保してください。

日ごろからの備え

新宮町ハザードマップの情報を確認

■危険な場所

町内で土砂災害の危険がある場所
津波浸水想定区域

■避難所など

一時避難所（公民館など）
自主避難所（町施設など）
収容避難所（学校、体育館など）
その他、避難に関する情報を掲載しています。

非常時持ち出し品・備蓄品を確認

■すぐに持ち出せる「非常用持ち出し袋」を準備する
最低3日分の「食料」「水」「生活必需品」「常備薬」
などを入れた非常用持ち出し袋を作り、わかりやすい
ところに置くようにする。



避難時は、支援品
が届くまで時間がか
かる場合があるため、
日ごろからの備えが
大切です。

家族などで事前に話し合っておく

災害に備えて、家庭防災会議をしましょう。

- 家ではどこが安全か
- 避難するところはどこか、どの経路で行くか
- 連絡方法をどうするか
- 非常用持ち出し袋をどこに置いておくか



その他にも
・携帯ラジオ
・充電器
・生理用品
・常備薬
などが必要です

身近な情報収集手段を確認

災害が発生した場合、町の防災行政無線から音声放送をします。
防災情報は、電子メールなどからも受け取ることができます。

①防災行政無線電話応答サービス ☎962-6325

②登録制メールサービス

登録制メール専用ホームページ

<http://bousai-shingu.jp/mail/mobile>

③防災専用SNSアカウント

◆Twitter アカウント @shingu_bousai

◆Facebook アカウント @shingu.bousai



▲登録制メールサービス



屋外拡声子局
(防災行政無線)

災害別の特徴・対策

災害にはさまざまな種類があり、取るべき行動も異なります。事前に確認しておくことが大切です。

地震



- 揺れを感じたらすばやく安全を確保する。
- 落下物などから頭部を守る。
- 最大震度5弱以上が推定される場合、緊急地震速報でもうじき揺れることが伝達される。

(参考) 地震の揺れのレベル

- 震度5強 物につかまらなないと歩くことが難しい
- 震度6弱 立つことが困難
- 震度6強 はわないと動くことができない
地滑りや山全体の崩壊が起こる
- 震度7 耐震性の低い建築物が壊れる
耐震性の強い建築物が傾く場合がある

津波



- すぐに高台に逃げる。
- 海岸には絶対に近づかない。
- 詳細な情報を待っていると逃げ遅れる恐れがあるため、すばやく避難する。

大雨



- 傘をさしていても濡れる激しい雨のとき
土砂災害の可能性があるので、情報収集をする。
- 道路が川のようになる雨のとき
中小河川が氾濫する可能性がある。
避難または避難準備をする。
- 辺り一面が白っぽくなり、息苦しく圧迫感がある雨のとき
洪水の可能性があるので、
避難指示などが出される場合がある。

土砂



- 避難情報の発表状況に関わらず、山なりや斜面から水がふきだしたりしたらすぐに逃げる。

	土石流	急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）	地滑り
土砂災害の種類			
特徴	山や谷の土砂が大雨などで崩れ、ものすごい勢いで流れてくる現象です。	地中にしみ込んだ水が地盤を弱め、雨や地震などによって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。	斜面が地下水の影響などによって滑りやすい地層を境にズルズルと斜面下方に移動する現象です。

台風

これから注意が必要な
シーズンです



台風は地震などと比べ、予測できます。

被害を最小限にするため、日ごろから備えておきましょう。

台風接近に備えた準備

【屋外】

- 屋根が風で飛ばされないか点検する
- 雨戸の強化をする
- 排水溝の水の流れを良くしておく
- プランターなどの家の周囲で飛ばされたり壊れたりする可能性があるものを室内に入れる

○アンテナなどを補強する

○物置などに収納している危険物が安全に保管されているか確認する

【屋内】

- 気象情報を注意深く確認する
- 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを準備する
- 断水の可能性があるため、水（飲料水・生活用水）を確保する

台風上陸後の注意点

- 気象情報や町からの情報を注意深く確認する
- むやみに外出しない

県総合防災訓練が新宮町・古賀市で行われます

県では、毎年災害に備えた訓練を行っています。消防・警察・自衛隊などをはじめ、防災関係の企業・団体なども多数参加して訓練を行います。

今年は粕屋北部消防本部管内である新宮町と古賀市が会場となり、新宮町消防団も参加します。

町内では相島で「離島における緊急地震速報対応訓練・避難訓練」「ヘリコプターによる離島住民避難訓練」が行われます。訓練中は町内の上空をヘリコプターが通過したり、町内および古賀市の道路が混雑したりすることが予想されます。訓練へのご理解とご協力をおねがいします。

日程 6月3日(日)

時間 午前10時～正午

訓練主会場 玄望園地区(古賀市筵内)

※エコロの森(古賀清掃工場)の隣接地

町内訓練会場 相島

訓練内容 倒壊家屋からの救助・救出訓練、住民参加型訓練など

主催 福岡県、新宮町、古賀市



▲昨年の訓練の様子